

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動遊びと療育支援　こどもプラス幕張本郷教室			公表日　　2025　年　3　月　24　日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・児童が運動を行う中で危険がないよう内容や取り組み方を工夫して対応している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、　職員の配置数は適切であるか。	8		・規定を順守して千葉市への申請通り行えるよう職員間で共有して対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・部屋を色分けして工夫している。また、教室全体が見渡せるような空間とし、職員間で把握できるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・随時消毒等を行うとともに、毎日の清掃を通所前と通所後に行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・事務所を含め対応できる部屋は自由に出入りしている。危険な場面でも職員が把握できる体制にしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・職員同士が意見交換が行える環境設定を心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎年アンケートを実施しているが、全職員が目を通して対応している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・日常より職員間で意見交換が常にできる環境であるようにし、児童に対応できるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	・外部評価がないため、職員間で指摘出来ないようなことにせず、気づきは伝え合える環境にしている。	・必要に応じて行うべき時には対応を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・月1回の研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・半年1回のモニタリングを必ず行っているが、時間をかけて保護者との相違がないようにすることと、課題について共有している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・モニタリング後には職員間で再確認して児童と向き合えるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・運動療育内容に沿って、かわり方など各児童への対応を検討している。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・日々の記録をもとに対応について検討している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・移行支援にお該当する児童が少ないが、本人支援と家族支援を中心に検討して対応できるようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・毎日リーダーを決めて中心となっていないようを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・療育の繰り返しが必要な運動がメインであるため、毎日プログラムを変えその日に合った内容を実施している。	・新しい活動を取り入れる際に、児童のルーティーンを崩すことを嫌がる児童への対応に課題もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・運動療育を集団とし、机上活動を個別に行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・毎日その日の流れや児童の対応を職員間で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・児童の降所後に振り返りを行い、次回につなげるようにしている。また、不在の職員には必ず共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・毎日個別記録をとるとともに、職員間でも意見交換を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・職員間だけでなく、相談支援事業所の必要なケース等には積極的に対応している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		・ガイドラインを理解して当事業所で出来る支援を組み立てて対応している。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		・通所を含めご家庭には児童本人の通所希望が見えるか確認し、活動時にも選択肢を伝えながら児童自ら前向きに捉えていけるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。支援時にも療育に入ることと、職員間での共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	・特に、学校、幼稚園、保育園と連携している。	・児童にとって必要な学校との連携が構築されていないこともある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・保護者を通じて調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		・連携の必要な児童においては行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8	・該当児童がいない。	・該当児童があれば行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		・児童発達支援センターからの連携もあり、見学や助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8	・個々に差はあるが、交流のとれる児童も多いため当事業所では行っていない。	・必要に応じるべき時には対応を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	・直接参加はできていないが、他機関を通して情報を得ている。	・できるだけ参加したいと考えている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・通所の際には連絡帳だけでなく、振り返りや状況を伝えている。また、気になることには直接電話での共有を行っている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・研修は行っていない。職員が支援プログラムの研修に参加し支援時や面談、その他の家族支援時にアドバイスしている。	・ご家族誰もが参加できる支援プログラムを行えるよう検討していくことも必要である。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時にわかりやすく説明することを心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・年2回の面談にて必ず共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・面談時にも療育で必要な項目を共有し、作成後に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・保護者、児童からの相談は最優先にして対応するようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	3	・学校、保育園、幼稚園での保護者の父母会等の相談や悩み、きょうだいの課題等には個々に対応するようにしており、父母会は行っていない。	・各ご家庭に希望を伺いながら対応を検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・苦情となるようなことはないが、日頃より相互理解となるよう対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・ホームページに掲載、連絡帳等で発信している。	・SNSは行っていない。時代に合わせるか検討している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・保護者には、利用契約時にご説明を行うとともに、職員間で雇用契約時にも確認し、書式等は鍵のかかる書庫にて対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・各家庭や児童に合わせた伝達を心がけている。質問や相談を受けた際には丁寧に対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・運動療育をメインに行っており、地域との交流は行っていない。ご家庭にも療育内容のご理解を得ている。	・地域に密着した事業所として対応していくためにも情報を受けていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・利用契約時に説明をさせていただいている。職員間では想定した対応を行い、避難訓練を年数回行っている。	・全ご家庭にも伝わるよう工夫して取り組んでいく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・業務継続計画を作成して対応している。	・全ご家庭にも伝わるよう工夫して取り組んでいく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・利用契約時に確認して対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・利用契約時に対応を各ご家庭と共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・安全計画を作成している。計画に沿った確認を行い対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		・緊急時等の連絡も含めご家庭との連携が取れるよう対応している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・小さな事例に対してもヒヤリハットとして対応できるように発信することを実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待研修を行うとともに、事業所内の意見等も言いやすい環境にして対応している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		・危険行為や集団活動時には他児への影響等にも配慮していくことにより起こりうる拘束等を保護者に説明し、職員間で共有している。	